

ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー Aコース（為替ヘッジあり） Bコース（為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版） 第25期

（決算日 2024年11月28日）
（作成対象期間 2024年5月29日～2024年11月28日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限（設定日：2012年5月30日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザー ファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株 マザーファンド	米国の金融商品取引所上場 株式および店頭登録株式 （上場予定および店頭登録 予定を含みます。また、DR （預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド 組 入 上 限 比 率	無制限	
	マ ザ ー フ ァ ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買 益（評価益を含みます。）等とし、原則として、 基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定し ます。ただし、分配対象額が少額の場合には、 分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

Aコース
 （為替ヘッジあり）

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
21期末（2022年11月28日）	11, 991	0	△ 4. 0	34, 882	△ 2. 6	94. 7	—	806
22期末（2023年 5 月29日）	12, 126	10	1. 2	36, 659	5. 1	96. 9	—	767
23期末（2023年11月28日）	12, 516	400	6. 5	39, 885	8. 8	95. 0	—	684
24期末（2024年 5 月28日）	12, 890	700	8. 6	46, 736	17. 2	94. 6	—	656
25期末（2024年11月28日）	13, 963	950	15. 7	53, 102	13. 6	91. 2	—	683

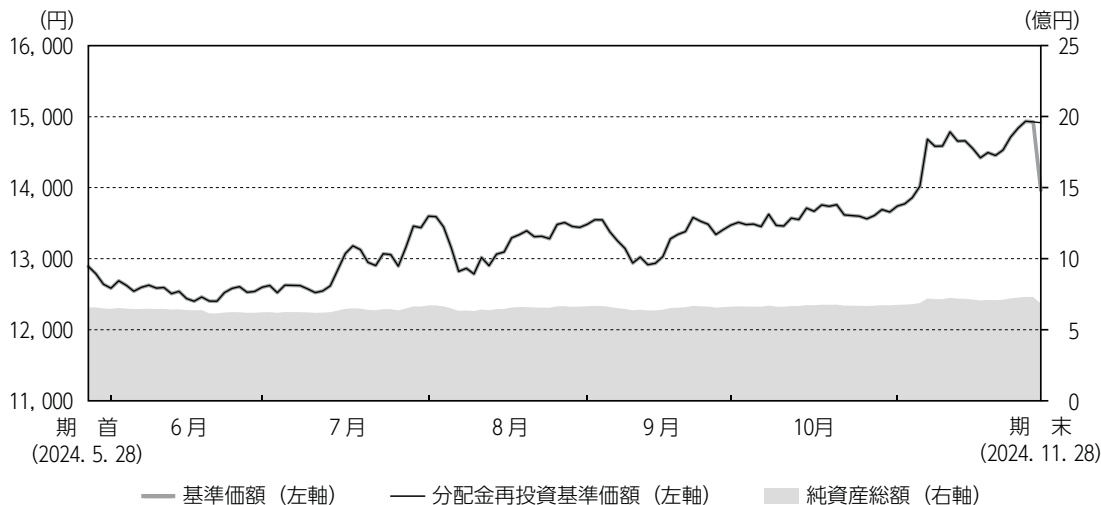
- （注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
- （注 2）S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- （注 3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- （注 4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- （注 5）株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- （注 6）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] およびCDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株ファンド
 —イーグルアイー
 Aコース
 （為替ヘッジあり）は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：12,890円

期末：13,963円（分配金950円）

騰落率：15.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイ– Aコース（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2024年 5 月28日	円	%		%	%	%
	12,890	—	46,736	—	94.6	—
5 月末	12,584	△ 2.4	46,129	△ 1.3	87.5	—
6 月末	12,598	△ 2.3	48,348	3.4	96.4	—
7 月末	13,597	5.5	47,968	2.6	95.8	—
8 月末	13,484	4.6	49,386	5.7	95.8	—
9 月末	13,473	4.5	50,719	8.5	96.4	—
10月末	13,739	6.6	51,417	10.0	97.6	—
(期 末) 2024年11月28日	14,913	15.7	53,102	13.6	91.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 5. 29 ～ 2024. 11. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、利下げ期待の高まりや高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引し、上昇基調となりました。しかし2024年7月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して急反発すると、FRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、9月中旬以降は上昇基調で推移しました。11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利して米国景気の先行きに対する期待が高まったこともあり、強い地合いのまま当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2024. 5. 29 ~ 2024. 11. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

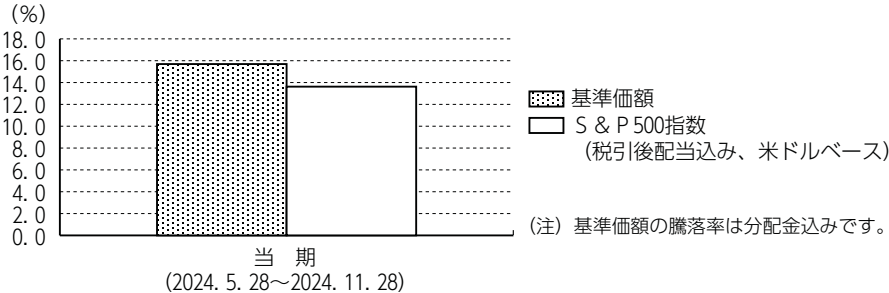
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET INC-CL A（コミュニケーション・サービス）や CBRE GROUP INC-A（不動産）などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年 5月29日 ～2024年11月28日	
当期分配金（税込み）	（円）	950
対基準価額比率	（％）	6.37
当期の収益	（円）	950
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,962

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	86.68円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,378.27
(c) 収益調整金		1,334.41
(d) 分配準備積立金		2,113.14
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）		4,912.50
(f) 分配金		950.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）		3,962.50

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

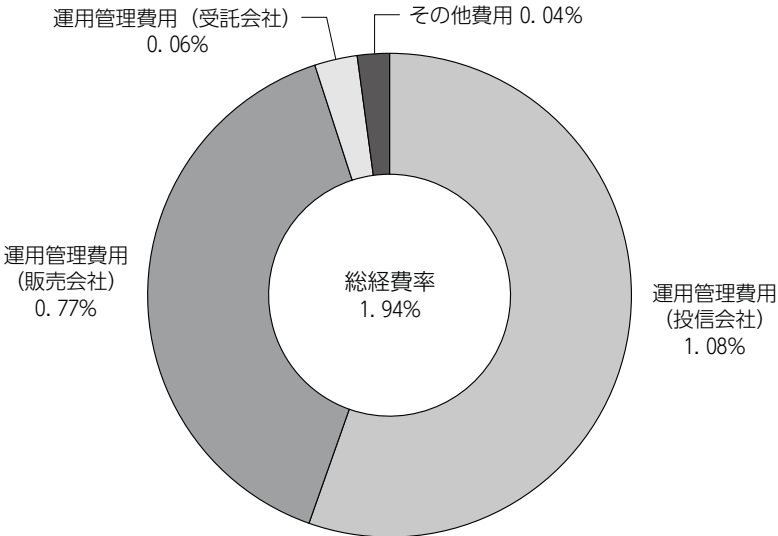
項 目	当 期 (2024. 5. 29～2024. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	128円	0. 959%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13, 318円です。
(投 信 会 社)	(72)	(0. 543)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(52)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 007	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 007)	
有価証券取引税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	3	0. 021	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	132	0. 988	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年 5月29日から2024年11月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	12, 379	105, 800	19, 545	181, 510

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年 5月29日から2024年11月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2, 644, 228千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5, 229, 674千円
(c) 売買高比率 (a) ／(b)	0. 50

(注 1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	73, 210	66, 044	670, 957

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	670, 957	91. 1
コール・ローン等、その他	65, 601	8. 9
投資信託財産総額	736, 559	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝151. 77円です。

(注 3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6, 535, 027千円) の投資信託財産総額 (6, 815, 781千円) に対する比率は、95. 9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1, 386, 340, 474円
コール・ローン等	53, 052, 313
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	670, 957, 180
未収入金	662, 330, 981
(B) 負債	702, 774, 386
未払金	649, 929, 147
未払収益分配金	46, 509, 388
未払信託報酬	6, 317, 691
その他未払費用	18, 160
(C) 純資産総額 (A－B)	683, 566, 088
元本	489, 572, 514
次期繰越損益金	193, 993, 574
(D) 受益権総口数	489, 572, 514口
1万口当り基準価額 (C／D)	13, 963円

* 期首における元本額は509, 355, 857円、当作成期間中における追加設定元本額は5, 527, 729円、同解約元本額は25, 311, 072円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13, 963円です。

■損益の状況

当期 自2024年 5月29日 至2024年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,041円
受取利息	6,995
その他収益金	2,046
(B) 有価証券売買損益	105,343,609
売買益	175,960,872
売買損	△ 70,617,263
(C) 信託報酬等	△ 6,382,921
(D) 当期損益金 (A + B + C)	98,969,729
(E) 前期繰越損益金	76,204,145
(F) 追加信託差損益金	65,329,088
(配当等相当額)	(58,109,198)
(売買損益相当額)	(7,219,890)
(G) 合計 (D + E + F)	240,502,962
(H) 収益分配金	△ 46,509,388
次期繰越損益金 (G + H)	193,993,574
追加信託差損益金	65,329,088
(配当等相当額)	(58,109,198)
(売買損益相当額)	(7,219,890)
分配準備積立金	128,664,486

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注 4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：1,923,963円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,243,781円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	67,476,561
(c) 収益調整金	65,329,088
(d) 分配準備積立金	103,453,532
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	240,502,962
(f) 分配金	46,509,388
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	193,993,574
(h) 受益権総口数	489,572,514□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	950円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Bコース（為替ヘッジなし）

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
21期末（2022年11月28日）	15,600	450	7.0	61,025	6.7	94.2	—	3,023
22期末（2023年 5 月29日）	15,993	400	5.1	64,903	6.4	96.1	—	3,171
23期末（2023年11月28日）	17,029	1,400	15.2	74,318	14.5	95.3	—	3,493
24期末（2024年 5 月28日）	18,158	2,000	18.4	92,248	24.1	96.4	—	3,977
25期末（2024年11月28日）	19,117	1,700	14.6	101,363	9.9	92.8	—	5,442

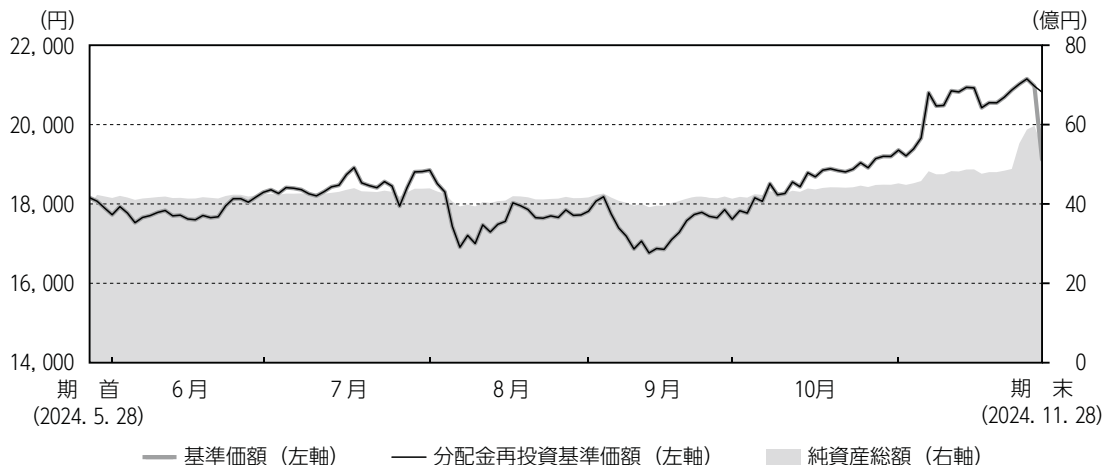
- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] およびCDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Bコース（為替ヘッジなし）は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：18,158円

期末：19,117円（分配金1,700円）

騰落率：14.6%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

為替相場で米ドルが対円で下落（円高）したことはマイナス要因となったものの、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイ– Bコース（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2024年 5 月28日	円 18,158	% —	92,248	% —	% 96.4	% —
5 月末	17,729	△ 2.4	90,936	△ 1.4	87.6	—
6 月末	18,295	0.8	97,942	6.2	96.6	—
7 月末	18,853	3.8	91,966	△ 0.3	96.0	—
8 月末	17,817	△ 1.9	89,940	△ 2.5	95.6	—
9 月末	17,615	△ 3.0	91,047	△ 1.3	95.9	—
10月末	19,357	6.6	99,355	7.7	96.1	—
(期 末) 2024年11月28日	20,817	14.6	101,363	9.9	92.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 5. 29 ～ 2024. 11. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、利下げ期待の高まりや高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引し、上昇基調となりました。しかし2024年7月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して急反発すると、FRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、9月中旬以降は上昇基調で推移しました。11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利して米国景気の先行きに対する期待が高まったこともあり、強い地合いのまま当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。9月は、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。しかし10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、11月半ば以降は、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

（2024. 5. 29 ～ 2024. 11. 28）

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

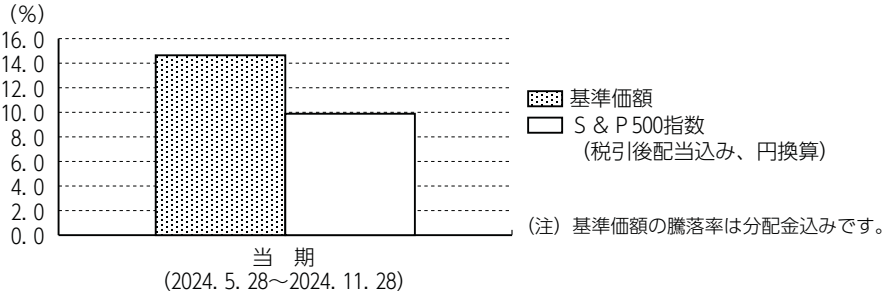
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET INC-CL A（コミュニケーション・サービス）や CBRE GROUP INC-A（不動産）などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の 1 万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1 万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1 万口当り）

項 目	当 期	
	2024年 5 月29日 ～2024年11月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	1,700
対基準価額比率	(%)	8.17
当期の収益	(円)	1,700
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	9,116

(注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注 4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1 万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 102.86円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 2,035.76
(c) 収益調整金	6,010.16
(d) 分配準備積立金	2,667.86
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	10,816.67
(f) 分配金	1,700.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	9,116.67

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

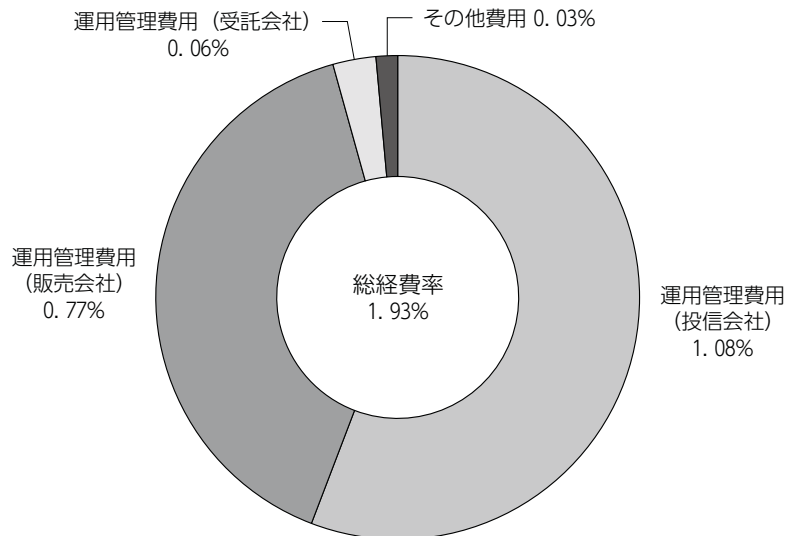
項 目	当 期 (2024. 5. 29～2024. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	176円	0. 959%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は18, 398円です。
(投 信 会 社)	(100)	(0. 543)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(71)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0. 028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 008	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 008)	
有価証券取引税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	3	0. 014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	181	0. 982	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



（注1）1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年 5月29日から2024年11月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	114,781	1,089,800	31,479	279,100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年 5月29日から2024年11月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,644,228千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,229,674千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.50

(注 1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	451,787	535,090	5,436,039

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	5,436,039	91.0
コール・ローン等、その他	536,270	9.0
投資信託財産総額	5,972,309	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝151.77円です。

(注 3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,535,027千円)の投資信託財産総額(6,815,781千円)に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,972,309,726円
コール・ローン等	536,270,192
ダイワ米国厳選株 マザーファンド（評価額）	5,436,039,534
(B) 負債	529,349,567
未払収益分配金	484,029,497
未払解約金	3,914,503
未払信託報酬	41,286,335
その他未払費用	119,232
(C) 純資産総額（A－B）	5,442,960,159
元本	2,847,232,341
次期繰越損益金	2,595,727,818
(D) 受益権総口数	2,847,232,341口
1万口当り基準価額（C／D）	19,117円

* 期首における元本額は2,190,539,070円、当作成期間中における追加設定元本額は864,371,956円、同解約元本額は207,678,685円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は19,117円です。

■損益の状況

当期 自2024年 5 月29日 至2024年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	31,914円
受取利息	31,914
(B) 有価証券売買損益	650,291,991
売買益	662,660,441
売買損	△ 12,368,450
(C) 信託報酬等	△ 41,405,567
(D) 当期損益金 (A + B + C)	608,918,338
(E) 前期繰越損益金	759,604,310
(F) 追加信託差損益金	1,711,234,667
(配当等相当額)	(1,333,252,569)
(売買損益相当額)	(377,982,098)
(G) 合計 (D + E + F)	3,079,757,315
(H) 収益分配金	△ 484,029,497
次期繰越損益金 (G + H)	2,595,727,818
追加信託差損益金	1,711,234,667
(配当等相当額)	(1,333,252,569)
(売買損益相当額)	(377,982,098)
分配準備積立金	884,493,151

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	29,288,542円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	579,629,796
(c) 収益調整金	1,711,234,667
(d) 分配準備積立金	759,604,310
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,079,757,315
(f) 分配金	484,029,497
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,595,727,818
(h) 受益権総口数	2,847,232,341口

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：12,544,336円（未監査）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	1,700円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・ 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・ 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・ 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第25期 (決算日 2024年11月28日)

(作成対象期間 2024年 5 月29日～2024年11月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

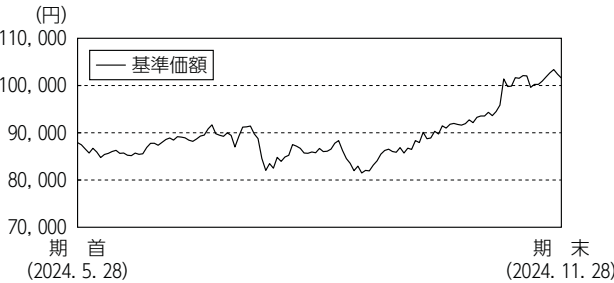
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	円	騰落率 (%)	(参考指数)	騰落率 (%)		
(期 首) 2024年 5 月 28 日	87,914	—	92,248	—	96.5	—
5 月 末	85,708	△ 2.5	90,936	△ 1.4	87.7	—
6 月 末	88,580	0.8	97,942	6.2	96.6	—
7 月 末	91,430	4.0	91,966	△ 0.3	95.9	—
8 月 末	86,544	△ 1.6	89,940	△ 2.5	95.6	—
9 月 末	85,708	△ 2.5	91,047	△ 1.3	95.7	—
10 月 末	94,327	7.3	99,355	7.7	96.0	—
(期 末) 2024年 11 月 28 日	101,591	15.6	101,363	9.9	92.9	—

(注 1) 騰落率は期首比。
(注 2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：87,914円 期末：101,591円 騰落率：15.6%
【基準価額の主な変動要因】

為替相場で米ドルが対円で下落 (円高) したことはマイナス要因となったものの、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況
米国株式市況は上昇しました。
米国株式市況は、当作成期首より、利下げ期待の高まりや高成長が期待される AI (人工知能) 関連企業の株価急騰が相場をけん引し、上昇基調となりました。しかし 2024 年 7 月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに 8 月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆した F R B (米国連邦準備制度理事会) 議長の発言などを

好感して急反発すると、F R B が 0.50% ポイントの利下げを決定したことなども好感され、9 月中旬以降は上昇基調で推移しました。11 月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利して米国景気の先行きに対する期待が高まったこともあり、強い地合いのまま当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドルが為替相場は対円で下落しました。
米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。2024 年 7 月以降は、日銀が 7 月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。9 月は、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。しかし 10 月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11 月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、11 月半ば以降は、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強く、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。当作成期の株式組入比率は、おおむね 90% 以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET INC-CL A (コミュニケーション・サービス) や CBRE GROUP INC-A (不動産) などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強く、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	7円 (7)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)
その他費用 (保管費用) (その他)	10 (10) (0)
合 計	17

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

主要な売買銘柄

株 式

当 期							
買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
FIRST CITIZENS BCSHS -CL A (アメリカ)	0.992	276,674	278,906	BANK OF AMERICA CORP (アメリカ)	37.575	236,499	6,294
SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	3.395	131,975	38,873	CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	10.445	189,890	18,179
KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	25.91	128,232	4,949	CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	3.822	183,782	48,085
PHILLIPS 66 (アメリカ)	5.5	108,589	19,743	INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN (アメリカ)	5.48	122,046	22,271
DEERE & CO (アメリカ)	1.71	100,453	58,744	SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	1.54	75,498	49,025
CONOCOPHILLIPS (アメリカ)	5.965	96,899	16,244	PAYCOM SOFTWARE INC (アメリカ)	2.36	75,245	31,883
CENTENE CORP (アメリカ)	9.055	89,584	9,893	FIRST CITIZENS BCSHS -CL A (アメリカ)	0.207	70,809	342,076
LIBERTY BROADBAND-C (アメリカ)	7.485	77,188	10,312	FISERV INC (アメリカ)	2.075	64,758	31,209
IQVIA HOLDINGS INC (アメリカ)	2.085	66,894	32,083	CAPITAL ONE FINANCIAL CORP (アメリカ)	2.24	60,783	27,135
SCHWAB (CHARLES) CORP (アメリカ)	4.785	52,801	11,034	AMERICAN EXPRESS CO (アメリカ)	1.495	54,992	36,784

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

売買および取引の状況

株 式

(2024年 5 月29日から2024年11月28日まで)					
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		823.77 ()	8,922 ()	776.24	8,431

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首	当期末		業種等
	株数	株数	評価額	
			外貨建金額 邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	184.65	138.45	2,231	338,701 金融
BRUNSWICK CORP	126.6	124.65	1,004	152,517 一般財・サービス
CENTENE CORP	165.05	250.3	1,500	227,662 ヘルスケア
DEERE & CO	48.35	61.5	2,865	434,957 資本財・サービス
LITHIA MOTORS INC	40.15	41.45	1,600	242,928 一般財・サービス
FIRST CITIZENS BCSHS -CL A	5.11	12.96	2,991	454,063 金融
FISERV INC	75.8	58.55	1,291	196,019 金融
ALPHABET INC-CL A	167.15	175.15	2,964	449,855 インフォメーション・サービス
PHILLIPS 66	83.35	135.7	1,809	274,636 エネルギー
LIBERTY BROADBAND-C	—	74.85	631	95,855 インフォメーション・サービス
CONOCOPHILLIPS	156.15	207.55	2,228	338,277 エネルギー
PAYCOM SOFTWARE INC	124.6	108.85	2,557	388,207 資本財・サービス
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	55.05	17.93	698	106,076 インフォメーション・サービス
CBRE GROUP INC - A	263.5	171.35	2,411	365,927 不動産
SALESFORCE.COM INC	39.05	57.6	1,900	288,493 情報技術
IQVIA HOLDINGS INC	109.05	126.4	2,546	386,417 ヘルスケア
WILLIS TOWERS WATSON PLC	58.7	53.2	1,706	259,067 金融
WARNER BROS. DISCOVERY INC SERIES	1,079.6	1,114.35	1,156	175,551 インフォメーション・サービス
BANK OF AMERICA CORP	375.75	—	—	— 金融
AMERICAN EXPRESS CO	14.95	—	—	— 金融
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	94.95	98	755	114,733 金融
KEURIG DR PEPPER INC	—	259.1	844	128,116 生活必需品
SCHWAB (CHARLES) CORP	360.35	396.7	3,276	497,311 金融
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	121.55	112.4	2,150	326,320 金融
ファン ド株数、金額	3,749.46	3,796.99	41,126	6,241,699
合 計 銘柄数<比率>	22銘柄	22銘柄		<92.9%>

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	6,241,699	91.6
コール・ローン等、その他	574,082	8.4
投資信託財産総額	6,815,781	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝151.77円です。

(注 3) 当期末における外貨建純資産 (6,535,027千円) の投資信託財産総額 (6,815,781千円) に対する比率は、95.9%です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,899,244,003円
コール・ローン等	568,975,474
株式 (評価額)	6,241,699,426
未収入金	83,462,335
未収配当金	5,106,768
(B) 負債	182,834,912
未払金	182,834,912
(C) 純資産総額 (A－B)	6,716,409,091
元本	661,125,063
次期繰越損益金	6,055,284,028
(D) 受益権総口数	661,125,063口
1万口当り基準価額 (C／D)	101,591円

* 期首における元本額は633,705,853円、当作成期間中における追加設定元本額は130,206,815円、同解約元本額は102,787,605円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Aコース (為替ヘッジあり) 66,044,943円
ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Bコース (為替ヘッジなし) 535,090,661円
ダイワ米国厳選バリュース株ファンド (ダイワSMA専用) 59,989,459円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は101,591円です。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■損益の状況

当期 自 2024年 5月29日 至2024年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	39,896,356円
受取配当金	22,819,333
受取利息	3,848,246
その他収益金	13,228,777
(B) 有価証券売買損益	788,800,826
売買益	1,116,885,216
売買損	△ 328,084,390
(C) その他費用	△ 608,798
(D) 当期損益金 (A + B + C)	828,088,384
(E) 前期繰越損益金	4,937,484,854
(F) 解約差損益金	△ 801,882,395
(G) 追加信託差損益金	1,091,593,185
(H) 合計 (D + E + F + G)	6,055,284,028
次期繰越損益金 (H)	6,055,284,028

- (注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株マザーファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。